

第 3 表（週間サービス計画）

- 質問 1 週間サービス計画表の活用方法やサービスの組み立て方について、
どのように考えていますか？
- 質問 2 本人の主な日常生活について、どのように把握しましたか？またそ
の人らしい生活がイメージされていますか？
- 質問 3 週間サービスには、利用者・家族の状況（意向、事情等）にあった
計画になりましたか？
- 質問 4 「週単位以外のサービス」の欄には何を記載していますか？

質問 1

週間サービス計画表の活用方法やサービスの組み立て方について、どのように考えていますか？

■目的

○介護保険サービスとインフォーマル、家族支援等のバランスがとれたケアプランになっているかどうか確認し、週間サービス計画表をたてる意義について理解しているか確認する。

■解説

○第2表のサービスや内容が第3表を通して、計画書そのものの全体的なバランスを把握することができ、それぞれのサービスと利用者の生活における関連性が見えるものとなり、見落としや見誤りなどないか確認できるものとなります。

○介護保険給付以外のセルフケアや家族介護などについても記載をしておくことで、利用者を支える生活全体が見えやすくなります。

特に利用者自身がセルフケアで継続して取組みを行っていることなどを記載し、ケアチームで共有しあうことは利用者のモチベーションを高めることにつながる場合があります。

○週間サービス計画表は、介護サービス利用の時間を一週間単位で確認できるので、生活全般の過ごし方を具体的にイメージすることができます。またサービス提供者（例：ヘルパー等）も、曜日や時間帯ごとのサービス利用の状況を確認することにより、他のサービスとの役割分担と連携を認識することができるので、チームケアを行う上においても効果的です。

○週間サービス計画表を作成する上においては、介護サービスの利用日と時間帯など利用者の希望や事情だけでなく、介護する家族の事情も影響します。またサービス提供事業所・者側の定員、送迎コース、受け入れ体制などもあり、すべて意向通りとはならない場合もあります。特に利用初期の1～3ヵ月間はサービスに慣れない利用者（家族）とサービス提供事業所・者間の「調整」により再三動くこともあります。

○利用する一週間のサービス「量」を見ると、支給限度額や利用料の負担度も影響するので、「利用したい」が現実には減らさざるを得ないという利用者（家族）の事情もあれば、要望のみが先行し、ややもすれば「必要以上と思われるサービス」「支給限度額いっぱいのサービス」になっている場合もあります。

○週単位以外のサービス（居宅療養管理指導や短期入所、福祉用具、医療や保健福祉サービス、地域の活動等）についても記載しておくことが大切です。

■留意事項

○本人の心身の機能の改善・低下等で週間サービスをどのタイミングで見直すことになっているか、またそのことを利用者・家族に伝えておくなども同時に行えているかを確認します。

■確認ポイント

□目標を達成するために取り組みが必要だと思われるサービスに偏りが無い。

□介護給付以外の取り組みについても記載ができており、家族の支援や利用者のセルフケアなどを含む生活全体の流れが見える記載となっている。

□夜間を含めた介護者の介護への関わりの内容（整容・排泄・吸引・吸入・食事・移動・入浴・清拭・体位変換・移乗等）が具体的に記載されている

□円滑なチームケアが実践できるような、わかりやすい記載がなされている。

■類似・追加の質問

○夜間や土日のサービス等で不安なこと、手立てを打った方がよいと思われたことはありますか？

○利用者（家族）が主体的に課題達成を目指すためにはどのような週間サービス計画表が理想的だと思いますか？

質問 2

本人の主な日常生活について、どのように把握しましたか？またその人らしい生活がイメージされていますか？

■目的

○本人及び家族の日常の過ごし方を把握することで、利用者及び家族の生活全体を捉えることができ、情報収集やアセスメントの過程に課題が残っていないかを確認する。

■解説

- この欄には、利用者の平均的な一日の過ごし方をできるだけ具体的に記載します。記載することでその人らしい「一日の生活リズム」を基本においたサービス提供の曜日と時間の組み立て、家族を含めた関わるタイミング、配慮すべき留意点（例：夕方、不穏になる時間に訪問介護や家族の支援を入れるなど）に対応することが可能となります。
- この欄を記載することで、家族が本人の過ごし方を具体的に知る手立てにもなります。同居であっても、一日や一週間を把握しているようで案外知らない場合もあるので、把握してもらっておく必要があります。
- なお本人が認知症や意思を表せない場合は家族から情報収集します。家族から「一日の過ごし方」を情報収集することにより、家族の関わりをつくる効果も期待できます。
- 現在の生活のイメージを持つことで、今の生活課題と生活リズムとの関係性を分析することができます。1日の生活をアセスメントすることで、課題の解決にむけて、きっかけ作りに繋がる場合があることを理解しておきます。

■留意事項

- 第3表の書式では、「主な日常生活上の活動」の欄が「右端」にあるために、介護サービス中心に一週間が組み立てられる印象があり、結果的に本人の「一日の過ごし方」が軽視されてしまう危険があるので注意が必要です。
- 基本的に本人から聴き取り、その際に現在だけでなく、要介護となる以前の過ごし方、本人が今後望む過ごし方も含めて把握することが大切です。
- 一度に全部を聞き出そうとせず、利用者の心身状況や性格等も考慮しながら、相手に不快感を与えないような把握の仕方ができているかを確認します。

- 主たる介護者の介護の関わりと不在の時間帯等についても記載をします。
- 一日の生活の流れが把握できていない場合には、なぜ出来ていないのかを確認することが大切です。

■確認ポイント

- ☐起床時間から就寝までの「一日の生活リズム」（整容、食事、散歩、掃除、昼寝、買物、洗濯、入浴等）が具体的に記載されている。
- ☐夜間を含めた介護者の介護への関わりの内容（整容・排泄・吸引・吸入・食事・移動・入浴・清拭・体位変換・移乗等）が具体的に記載されている。
- ☐一日の生活の中で習慣化していることが記載されている。
- ☐主たる介護者の「介護への関わり」や不在の時間帯等について記載されている

■類似及び補足質問

- 本人はどのような過ごし方をしたいと望まれていますか？
- 一日の中で利用者（家族）が心配な時間帯、不安になる時間帯はどの辺りですか？
- 夜間、深夜の時間で不安な時間帯や心配事がありますか？それはどのような内容ですか？

質問 3

週間サービスには、利用者・家族の状況（意向、事情等）にあった計画になりましたか？

■目的

- 利用者・家族の意向と事情をくみ取った週単位の介護保険サービスになっているか、利用者・家族の同意を得られているかを確認する。
- 利用者の自立を支援するために、フォーマル・インフォーマル・家族支援等のサービスを考慮し、それらがバランス良く記載された効果的なケアプランになっているかを確認する。
- 介護サービス導入が前提と思えるようなケアプランになっていないか確認する。

■解説

- 課題（ニーズ）を解決していくためには、介護保険のサービス利用に頼るのではなく、自分でできることや家族ができることなどを整理しておく必要があります。
- サービス内容については、介護保険のサービス内容を記載するだけでなく、利用者及び家族が取り組むもの、遠方の家族や近隣、ボランティア等を含むインフォーマルな資源が担う役割等も記載しておくことで家族を含めたチームが関わっているかを確認することができます。

■留意事項

- 利用者及び家族・近隣・地域の力量にも差がありますので、意向をくみ取ることなくインフォーマルな資源の活用についての記載を行うことがないように留意します。
- 夜間・土日は家族がいるからといって、サービスが必要でないとは限りません。介護負担の状況によっては、夜間や土日の支援体制を組む視点があるかどうかを確認します。

■確認ポイント

- ☐利用者及び家族が行う役割やセルフケアについて記載ができています。
- ☐インフォーマル資源等の活用なども意識してアセスメントを行っている。
- ☐夜間・土日などの支援体制もきちんと考えている。

■類似・追加の質問

- 利用者・家族の方はこの介護サービスの組み立てで満足されていますか？
- 夜間や土日のサービス等で不安なこと、手立てを打った方がよいと思われたことはありますか？
- 利用者（家族）が主体的に課題達成をめざすためにはどのような週間サービス計画が求められると思いますか？

質問 4

「週単位以外のサービス」の欄には何を記載していますか？

■目的

- 利用者の状態は変化するものであることを理解し、一時的に必要なサービスなども含めて記載する必要性や週単位以外のサービスにも介護保険サービスが含まれているため、利用している介護保険サービス全体を把握する必要性を確認する。

■解説

- この欄には、サービス開始当初に導入した福祉用具や、隔月に利用する短期入所など、週単位以外のサービスを利用する場合に記載します。
- 利用者の生活は、状態像や環境の変化で刻々と変わる場合があります。
決して週単位のサービスだけで支えているわけではありません。一時的に必要な支援や、週単位ではないけれども定期的に必要な支援なども含めて、継続的に支援体制を構築していく必要があります。
- 医療機関への受診や、保健サービスの利用、ボランティアの不定期な支援や近所の方々の支援なども記入しておくことは大切な情報です。
- 週単位サービス以外の支援を記載しておくことで、期間限定で利用するサービス内容や、月単位で利用するサービスも含めて、利用者の生活を支援する体制の全体像を把握できます。

■留意事項

- 定期的な受診や、訪問診療など、医療機関との関係を記載できているか確認する事も大切です。
- 住宅改修や福祉用具購入など、一時的に利用したサービスに関しても把握しておくことで、今後のサービスのあり方の参考になります。

■確認ポイント

- 「週単位以外のサービス」欄の目的を理解し、記載している。

■類似・追加の質問

- 「週単位以外のサービス」の欄はどのように活用していますか？